

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年6月21日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

なぜこんなに保険料が高い？ 年金が少なく利用できない！

6. 20介護110番

訪問介護改悪きっかけに介護退職も

6月20日、介護に笑顔を！道連絡会は、「介護保険110番」を行いました。道内各地で介護保険料が値上げされ、介護報酬の改悪もあり利用料の値上げや利用制限など深刻な状態が広がる中、電話相談を行いました。18人から19件の相談が寄せられました。



札幌9人 旭川3人 北見2人 石狩・小樽・室蘭・釧路各1人

値上げされた保険料の通知が届いたこともあり、「なぜこんなに保険料が高いのか？年金も下がり大変」などの電話が4件（旭川2件・札幌・小樽）と多く、「年金月4万2千円で、医療も介護も受けられない。持家があるので生活保護も利用できない」（釧路）などの相談も寄せられ、低年金で生活するのも大変な実態も明らかになりました。

また、親（要介護3）を介護している男性からは、4月からの介護報酬改悪をきっかけに、担当のケアマネから「生活援助ができなくなった」と言われ、保険外介護サービス（1時間1000円）を利用したが、ショートステイも制限がある。日中一人にしておけないので、仕事をやめて介護している」（札幌）との相談や、脳梗塞で入院している夫の「転院先をどのように探したらよいか」との相談（北見）などもあり、病院からの追い出しが進められ、患者・家族が悩んでいることも明らかになりました。

また、家族からは認知症をはじめ日頃の介護の大変さ、介護を受けている方からは、制度を利用している方の思いも寄せられ、30分の相談が3件ありました（平均通話時間12分）。

相談を担当したケアマネジャーは、「高い保険料をはじめ、必要な介護が受けられない制度の改善のために、みなさんの声を行政に働きかけていきます」と答えていました。

旭川では生活保護110番

年金生活者からも相次いで相談

生活保護申請が6件も！



6月20日、旭川生活と健康を守る会は、生活保護110番を行いました。「国民年金や障害年金を受けていても申請できるのかなど、生活保護に関することならどんな質問でも」とのチラシもつくり宣伝しました。

当日は午前10時～午後2時まで4時間で19件の相談がありました。そのうち、生活保護申請の相談が12件で6の方が申請することになりました。生活保護利用している方からの相談もありました。

今回は、年金生活者の申請が多く5件で、「家を持っているのが申請できないのか」などの相談も特徴でした。65歳の方からは「一月、年金が1万7千円とヘルパーとして5、6万円の収入でやっと生活している、古い持ち家ですが生活保護を利用できるか」、77歳の男性からは、「息子の持ち家で一人で生活しているが、生活保護を利用できないか役所に相談したが、息子と相談するように言われた」などの相談もあり、生活保護申請の方法など説明しました。

生活保護の他にも、二児の40代の娘さんの父親から「娘が精神疾患になり仕事をやめた。生活保護は利用させたくない、何か制度はないか」、保険料の納付期間が7年足りないため厚生年金を受給できないという65歳の男性からは「保険料を一括して40万円払うと年金を受給できると説明受けたがとても支払えない。持家でローンもあるが支払えず銀行に差し押さえられている」などの相談もありました。

太田事務局長は「旭川で生活保護だけの電話相談ははじめだと思えます。一般紙の記事を見て電話してくれた方が16件。深刻な相談が多く、今度は土曜日一日を使い、大々的に宣伝して行いたい」と話しています。

本日（21日） 夕方宣伝と怒りのデモ行進

17:30～18:00 夕宣伝 三越前

18:30～

政治の暴走を許さない！怒りのデモ（集合 18:15 大通西3丁目）